

西郷村立熊倉小学校 「成長」～子どもの力を伸ばす学校～



熊小だより

令和7年4月22日（火）

No. 530

発行者 校長 山川 晃司



～ご来校ありがとうございました～

授業参観・PTA総会

4月18日（金）、今年度1回目の授業参観を行いました。1年生にとっては、初めての授業参観でしたが、大勢の保護者の皆様が参観している中で、緊張しながらもしっかりとした態度で授業に臨む姿が見られました。



授業参観後のPTA総会では、新しい本部役員の選出、今年度の事業計画・予算案などの協議が行われました。今年度の本部役員に選出された皆様を紹介します。

PTA会長	森 大志 様
PTA副会長	遠藤 知志 様
	田部井敏彦 様
	熊谷 剛 様
庶 務	須藤 浩平 様
	鈴木康泰子（教頭）
会 計	石山奈津子 様
	御代田 光（主事）
監 査	長谷川寿之 様
	水上泰真人 様
	菊池 奈穂 様
顧 問	田島 貴志 様
	山川 晃司（校長）

その後に行われた学年懇談会、PTA専門委員会にもたくさんの方にご参加いただき誠にありがとうございました。

今年度も、保護者の皆様方のPTA活動に対するご協力をよろしくお願いいたします。

PTA総会校長あいさつ

全ての保護者様にお伝えしたい内容ですので、ぜひご一読ください。

～前 略～

さて唐突ですが、今日ご挨拶させていただく内容は、「新しい時代の教育に向けて熊倉小学校は大きく変わっていきます。」ということです。

まず、要項の1ページをご覧ください。どの学校でも作成しているそれぞれの学校の教育活動において一番の核となる「学校経営・運営ビジョン」というものです。昨年度、熊倉小学校では10年以上ぶりにこの内容全てを新しくしました。その理由の一つは、学校教育は、子ども達にこれからの急激な社会の変化に対応できる資質・能力を育む教育へと変わっていかなければならないからです。ビジョンにはその内容をしっかりと取り入れたつもりです。私たち熊倉小学校の教職員は、この中に示されている教育目標、めざす児童像、そしてその具現化を図るための重点実践事項をしっかりと共通理解・共通実践し、お子さま方の心力・知力・体力をバランスよく、そしてしっかりと高めていくことをまずはお約束いたします。

ところで、昨年、一昨年とこの場でお話しさせていただいた校長としての4つの約束「子ども達を大切にします」「保護者を大切にします」「地域を大切にします」そして「教職員を大切にします」は、めざす学校像としてビジョンの右上に位置づけました。これは、今年度も変わりませんのでよろしくお願いいたします。

さて、いくつかお約束をさせていただきましたが、今度は保護者の皆様方へお願いです。これも昨年、一昨年の繰り返しです。子ども達が安心して充実した学習活動や学校生活を行うために、とても大切なことは、ビジョン青枠の中段に示してあるルールの確立とリレーションの形成です。リレーションとは関係性のことで、

子ども同士、そして教師と子どものよりよい関係性を築くことが学習でも生活でも欠かすことができません。

そこで、保護者の皆様をお願いします。お子様方に対して、または聞こえるところで担任や指導に関わる職員を批判することはなさらないようお願いいたします。これは、信頼関係を一気に壊してしまう大きな原因になるからです。

ただし、誤解を招かないよう補足説明いたしますが、担任や学校の指導に対する不満や不信感を口にせず、我慢してくださいということをお願いしているわけではありません。むしろそういうことは、遠慮なく直接学校へどんどんおっしゃってください。我々はそれを真摯に受け止めて、改善に向けて全力を尽くしてまいります。ですから、熊倉小学校の教職員とお子様方がよりよい関係を築き、充実した教育活動を実践できるようにするために、先ほどのお願いに対する保護者の皆様方のご理解とご協力を切にお願いいたします。

さて、冒頭にお話しした「熊倉小学校は大きく変わっていきます」ということについて、これからはビジョンから離れてお話しさせていただきます。要項の44ページをご覧ください。今年度新しくした日課表です。

私が本校校長に赴任してから2年間で保護者の皆様方のご理解やご協力をいただきながら、20以上の新しい取組を行ってまいりました。その中に、アプリによる欠席連絡、配付文書の電子化、学校徴収金の口座振替、購買部の廃止などがあります。これら取組によって、学校生活の中に「ゆとりの時間」を生み出しました。そして、今年度からはその「ゆとりの時間」を活用するとともに、様々な工夫をして日課表を改善しました。その結果、授業はもちろん昨年度まで行っていたランランタイムや読書タイム、家庭学習確認タイムなどを削ることなく、子ども達の遊ぶ時間を増やし、その上で下校時刻もこの2年間で45分間早めました。子ども達はゆとりをもった学校生活を送った上で、早い時間帯に安全に下校することができるようになります。また放課後の時間が長くなったので、職員は翌日以降の授業準備をしっかりと行った上で早めに退勤し、常に心身ともに健康な状態で子ども達の指導にあたることができるようになります。このような日課表の変更が、今年度大きく変わるものの一つ目です。

2つ目の大きく変わることは、通知票を2期制に移行することです。通知票の発行は「9月末」と「3月末」の2回とします。昨年度、学校からのお便りで説明したとおり、メリットとして4点「1学期、2学期末の教育活動の充実」「夏季休業期間延長に伴って増える6校時日の無理ない設定」「豊富な評価資料を用いたきめ細かな評価」「教職員の働き方改革」を考えています。例えば、1学期末・2学期末は通知票作成のために職員にとって非常に忙しい時期でした。それが解消されるため、各学期末の教育活動をダイナミックに展開できるようになります。具体的には、例年6月の混雑期に行っていた修学旅行・見学学習を比較的空いている1学期末の7月に行うことが可能となり、さらに修学旅行については1泊2日で実施します。それに係る費用は、村や県からの補助金を活用しますので、保護者のご負担は昨年度まで行っていた日帰りの修学旅行とほぼ同じとお考えください。詳しくは、6年生の学年懇談会の中で説明します。

大きく変わるものの3点目は、教科担任制の一層の推進です。小学校5、6年生の教科担任制については、文部科学省や福島県教育委員会の施策であり、今後小学校3年生まで拡大されることが提言されています。本校では、今年度、算数科・理科・外国語科の教科専科指導教員を配置するとともに、非常勤講師4名による教科担任指導も行い、3年生以上の全ての学年で教科担任制を先行して本格的に導入します。それぞれの教科の専門性の高い職員の指導により、授業の質を高めるとともに、担任の空き時間が増え、授業や学級経営を充実させるための準備時間を十分に確保することにもつながります。

以上、今年度大きく変わる主なものとして3点説明させていただきました。もちろん変えた以上は、その成果と課題をしっかりと検証し、改善すべき点はしっかりと改善していきたいと思っておりますので、保護者の皆様からも、忌憚のないご意見をお待ちしております。

令和7年度の始まりにあたって「新しい時代の教育に向けて熊倉小学校は大きく変わっていきます。」というお話させていただきました。

最後に、令和7年度も、本校の学校教育活動、PTA活動へのご支援・ご協力を賜りますよう改めて申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。